



議員定数削減

3/20、神奈川県議会本会議で、県議会議員の定数削減条例が議員提案として議題となり、議員提案説明、質疑、採決が行われました。

FBでもご報告させて頂きましたが、その採決は、熟慮を重ね、会派3人で議論を交わした結果、やむなく退席しました。（下の写真はTVKニュースより）



この条例案は、県議会の現定数107人を横浜市青葉区、川崎市川崎区でそれぞれ1減し、定数を105人とするものです。この2減の根拠は、現状の選挙区を維持して、8つの常任委員会に各13人を配置し、議長1名と合わせて、105人にするというものです。

私は、神奈川県議会議員は、概ね人口10万人に1人が適正水準であると考えています。（東京都は現状、大阪府は次回選挙から約10万人に1人になっています。）この計算ですと、県議会議員の定数は90人前

後。さらに、神奈川県は 内に3つの政令指定都市を擁する日本で唯一の県です。県議会の任務も、他の道県とは事情が変わって来ます。そこで、常任委員会主義を理解し採用したとして、各常任委員会11名、プラス議長で「定数89」が、前回の統一地方選挙から、一貫して、12月まで所属していた「みんなの党神奈川県議会議員団」そしていま所属する「かながわの未来を結ぶ会」が提案してきた定数です。

『この前の選挙のときより景気も回復しているし、税収も上向きになる』『神奈川県は人口がまだ増えている』・・・と条例提案者から説明されましたが、果たしてこの状態がずっと続くと考えているのでしょうか？私は疑問視しています。

横須賀市は確実に人口減少傾向に入っています。いまを基準にするのではなく、中長期的な視点で考えなければならないのではないのでしょうか？

今回提案された条例の「2減」。3年前の県議選で有権者の皆様と約束した公約数とかけ離れていることは否めませんが、『削減』したという事は、一歩前進したと、その姿勢には賛成したいと思いました。しかし、削減数には反対。採決で「反対」をすれば、「議員定数削減」そのものに反対したと受け止められてしまうことから、やむなく退席しました。

今回の改正は、平成11年の統一地方選挙時に「115⇒107」になって以来の改正、27年度の統一地方選挙から実施という事になると、実に16年ぶりの改正です。一歩動き出しました。数ではなく質を。今回の改正が、神奈川県議会の改革のエポックになるのか、これからも会派をこえて審議していきたいと思えます。（議員定数削減については、改選後すぐに！）

今回の態度表明に関しては、これから；皆様に、機会あるごとに丁寧に説明させていただきたいと考えています。



救急医療センター、新港町にオープン！

3/29、かねて新港町に建設中だった「横須賀市救急医療センター」の落成式が行われました。（下の写真はオープニングのテープカット）



救急医療センターは、昭和55年から34年間、三春町で、地域の初期救急医療を担って来ました。

この救急センターから、2次救急に送られる96%が横須賀市内の病院（残りは横浜市大病院と湘南鎌倉病院など）と、地域の医療の理想の形を確立して来ました。前市長の時に移転を検討した救急センター。市議会の働き、現市長の決断、医師会の皆さんの努力を結集して、今日のオープンとなりました。

新・救急医療センターは、患者さんが第一！三春町のセンターで、ここがよくなれば！こうなったらいいな！というところを、改善。本当に必要な人に救急医療を提供出来る事を最優先に、横須賀の救急医療の充実をはかるため、各所に改善点がみられました。

（写真は待合室のキッズコーナーとその前での記念撮影）



市民にとって、気軽に利用出来る救急センターの存在は、安心に繋がります。

今日、施設内を見学させて頂いて、ここで、スタッフの方々が、きびきびと働いていらっしゃる姿が目には浮かびました。救急センターのこれからに期待しています！

（おしらせ）

2014年4月から、高速道路三社の料金が改訂され、これまでETC車対象の割引が廃止されました。例えば 平日の夜10時～翌朝6時まで、狩場～馬堀まで700円だったところが1440円になりました。これまで横須賀市は、横横道路の料金引き下げを国に交渉して参りましたが残念な結果となりました。県議会としても国に意見書を提出しています。みなさんと一緒にこの問題を考え、国に働きかける運動を起こしていきたいと思えますのでご協力をお願いします。